令和５年度　第２回瑞穂町地域保健福祉審議会

会議録

日時：令和６年３月２９日（金）
午後１時３０分～午後２時５５分
場所：瑞穂町役場４階　全員協議会室

会議次第

１　開会
２　会長あいさつ
３　議題
（１）瑞穂町第４次地域保健福祉計画の進捗状況について
（２）各専門分科会の報告について
①瑞穂町障害者計画・第７期障害福祉計画・第３期障害児福祉計画について
②瑞穂町第９期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について
４　その他
（１）第３期子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査の実施について（子育て応援課）
（２）いのち支える瑞穂町自殺予防行動計画の進捗状況について（健康課）
５　閉会

出席者【委員】

村井委員	田中委員	小林委員	杉浦委員	鈴木委員
原委員	五十嵐委員	飯田委員	石川委員(会長)	中村委員
粕谷委員	小川委員	日野委員	森泉委員	石蔵委員
石井委員	大井委員	小作委員	福島委員	小峰委員

欠席者【委員】

海老原委員	渡部委員	竹中委員	川鍋委員	

出席者【事務局】

田野福祉課長	小山福祉推進係長	一ノ瀬主事	若松障がい者支援係長
石川子育て応援課長	島﨑子育て支援係長	池田保育・幼稚園係長	宮澤児童館係長
吉岡子ども家庭支援センター係長	並木高齢者福祉課長	中村高齢者支援係長	和田施設改修担当主査
千葉地域包括ケア推進係長	鳥海介護支援係長	工藤健康課長	鈴木健康係長
榎本ワクチン接種事業担当主査	片野保健係長	吉岡協働推進課長	池谷地域支援係長（社会福祉協議会）

公開・非公開の別

公開

傍聴者

０名

会議録

１　開会

事務局より配布資料の確認。

（１）次第

（２）瑞穂町地域保健福祉審議会委員名簿

（３）資料１－１　瑞穂町第４次地域保健福祉計画の進捗状況

（４）資料１－２　瑞穂町第４次地域保健福祉計画の進捗状況（報告）

（５）資料１－３　令和５年度第２回瑞穂町地域保健福祉審議会質疑等について

（６）資料２　瑞穂町障害者計画・第７期障害福祉計画・第３期障害児福祉計画

（７）資料３　瑞穂町第９期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

（８）第３期子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査報告書

（９）資料４　いのち支える瑞穂町自殺予防行動計画の進捗状況

２　会長あいさつ

石川会長よりあいさつ。

３　議題

（１）瑞穂町第４次地域保健福祉計画の進捗状況について

福祉課長より、資料１－１　瑞穂町第４次地域保健福祉計画の進捗状況に沿って説明。

・地域交流、世代間交流の推進

・学校関係者等と連携した非行防止、学習支援

・相談体制の充実

子育て応援課長より資料１－１　瑞穂町第４次地域保健福祉計画の進捗状況に沿って説明。

・待機児童の解消への取組と保育サービスの充実

・児童虐待の未然防止

高齢者福祉課長より資料１－１　瑞穂町第４次地域保健福祉計画の進捗状況に沿って説明。

・高齢者福祉センター寿楽の運営

・介護保険制度の適正な運営

健康課長より資料１－１　瑞穂町第４次地域保健福祉計画の進捗状況に沿って説明。

・切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策事業の推進

・健康増進事業の推進

質疑・意見

・１－（１）－②　地域における交流の場づくりの推進

「企業やスクールソーシャルワーカーと協働で農家の収穫の手伝いなど、地域のささえあいが広がってきた。」とありますが、この取り組みについて具体的に教えてください。

町内に１，６００事業所があり、３分の１が製造業で都内３番目の出荷量があると伺っています。フードリレーや地域の支えあい活動に協働で取り組める事業所を少しずつ開拓できると良いと思いました。町の産業経済課が製造業事業所に対して補助金による支援事業等を行っているので、連携して展開ができると良いのではないかと思いました。

〈社会福祉協議会　池谷地域支援係長より回答〉

フードリレーの事業を通じて農家の方から野菜をいただけると話がありました。野菜は掘り起こす必要があったため、スクールソーシャルワーカーとの協働で不登校の子どもたちに掘り起こしを行ってもらうことになりました。畑での作業や農家の方とのふれあいを通じて、子どもたちが地域に出ていく機会になりました。活動を通じて農家の方たちにもささえあいに加わっていくことにつながりました。

・１－（５）－⑥　障がい者の社会参加の促進支援

「インフォーマルな支援の担い手不足により十分なサービスが受けられず、社会参加が制限されてしまう事例が増えている」とありますが、どのような事例が出ているのか可能な範囲で教えていただきたいです。また、このような事例を減らすには、具体的にどんな取り組みが必要と考えているのか教えてください。

〈社会福祉協議会　池谷地域支援係長より回答〉

障がい者の生活を支えるインフォーマルな支援は、その親御さんたちの関わりが主となっています。親の高齢化により支援が困難になってしまうと、現時点ではそれに代わるインフォーマルな支援は地域には見当たらず、社会生活に制限が出てきてしまいます。

社会福祉協議会では、現在各地区で行っている来年度から「地域つながり推進連絡会」と称した地域懇談会を実施していきますが、その中で住民の方とともに障がいを持つ方の支えあい活動を考えていきたいと思います。

・３－（３）－⑤　相談体制の充実

令和５年４月に設置した「協働の窓口」（みずほマッチング）には、どのような相談が入っているのか実績を教えてほしいです。また、社会福祉法の重層的支援体制整備事業とのすみ分けについても教えてください。

〈吉岡協働推進課長より回答〉

令和５年度「協働の窓口（みずほマッチング）」への相談について、瑞穂中学校ＰＴＡから町と協働による防災訓練の実施についての相談があり、協働パートナー事業活動として令和５年１０月２８日（土）及び２９日（日）に防災訓練を実施しました。その他、実施には至っておりませんが、箱根ケ崎駅西公有地を活用したマルシェやイルミネーション事業の相談がありました。また、ＮＰＯ法人から子どもを対象とした人形劇に関する相談があり、令和６年度の実施に向けて協議中です。

重層的支援体制整備事業とのすみ分けについて、協働の窓口（みずほマッチング）では、①協働パートナー事業活動への支援、②ボランティアセンターみずほ等との連携、③協働テーマの募集・提案、④団体等同士のマッチング、⑤包括協定の締結等の支援を行っています。協働推進課では相談内容を伺い、関連する部署へ橋渡しをしていますが、その相談内容が重層的支援体制整備事業に関することであった場合は、担当となる福祉課へ繋ぐことになりますので、特にすみ分け等はありません。

・３－（４）－④　待機児童の解消への取組と保育サービスの充実

令和５年９月から新たに医療的ケア児保育支援事業を開始していますが、利用状況と今後の見通しや課題について伺いたいです。

〈池田保育・幼稚園係長より回答〉

現在、町内の認定こども園１園で医療的ケア児を１名受け入れていただいており、看護師及び保育補助者に対する補助金を活用していただいています。

今後の見通しですが、令和６年度に医療的ケア児受入れについてのガイドラインを制定予定です。町内保育所等での医療的ケア児受入れをすすめられるよう、各園に対し丁寧に説明していきます。

課題ですが、医療的ケア児への対応が可能な看護師の雇用が困難であると各園から聞いています。

（２）各専門分科会の報告について

①障害福祉計画・障がい児福祉計画専門分科会　杉浦委員より、瑞穂町障害者計画・第７期障害福祉計画・第３期障害児福祉計画について報告。

②高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画専門分科会　田中委員より、瑞穂町第９期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について報告。

意見、講評、アドバイス

・各委員より、ご意見等

・村井委員より、全体的な講評、アドバイス。

多岐に渡りますが、このような計画を評価・継続することで意味があると思っていまして、皆様からもお話がありましたが、計画を策定したら多くのところに周知し、計画に基づいて様々な部門の方々や社会福祉法人等その分野の活動者の方々も、どの方向に瑞穂町が進んでいくのか足並みをそろえていけたら良いと思います。例えば、社会福祉法人の福祉施設で働いている方がこの計画を知って、自分が利用者さんに対して行っているケアが、この計画の具体的な取組の一環ということを認識していけるような瑞穂町としての一体感をどのように作っていくのかというのが長年の課題です。ですから、この計画を考えてみる機会や読んでみる機会、自分とどのように関係があるのかというのを考えていただき、その取り組みを通して、その分野の計画に対して、「次期計画の策定にはこれを盛り込んでほしい」等、多くの方々からフィードバックをしていただき、精緻性の高い、より実態に合った策定へと磨いていけるような仕組みを最終的には作っていくことがとても大切です。行政だけの行動計画や行政に何を

してもらうかという計画とは違い、皆の知識と経験をある一定の方向に方向づけながら、連携していくための計画です。策定委員と審議会のメンバーの方々、行政職員、この計画に少しでも携わった各分野の方々にお願いしたいのは、この計画の広報大使として、計画を様々なところへ周知・浸透させていっていただきたいと思います。皆で作り、皆で評価し、皆で推進することがとても重要だと思います。

資料１－１に関して、判定がＣ、Ｄ、Ｅに関係するところこそ審議会で報告し、皆さんから意見をいただくべき案件だと感じました。ここにいる他分野の方々の知見をいただくことも大事だと思います。一方でＡなど高い評価をあげた項目に関しては、瑞穂町の力として周知し育んでいくことも大事だと思いますし、数値的な目標を本文にも入っているとなお良いと思います。また、各項目の本文の「結果を踏まえた今後の課題」が令和４年度と令和５年度で比較したときに、何かしらの変化があると良いと思います。１年という期間をかけたにも関わらず同じ内容ですと、やや物足りなさを感じます。同じ目標になったとしても、成果や進捗は変化がほしいです。しかし、大きな自治体と比べても遜色のない評価をされていますので、瑞穂町はとても丁寧であるということは皆さんにも周知させていただきます。

介護保険事業計画と障害者福祉計画のパブリックコメントが０件だったということに関して、大きな都市でもほとんど来ないというのが現状です。ただ、最近ではインターネットや郵送物でのやり取りが極端に減ってきています。オンラインで回収するようになり、やや回復しました。若い世代は、オンラインでの回答が数字を上げている傾向があります。大いにオンラインを使いつつ、取りこぼしがないようにしてもらえればと思います。パブリックコメントが０件ということは、興味を持ってもらえていないか、周知期間が短すぎたのかもしれません。大きな自治体は１か月ほど時間を設けていますので、周知の時間とフィードバックの時間を丁寧に設けたほうが良いと感じました。これからも町民の意見は大事にしていただきたいです。

各計画については、大きな都市とも遜色ないクオリティの高いもので、高齢者保健福祉計画では、２０４０年までの未来の推計をしっかり出しています。これからも計画策定のときは、その計画の終了年度をイメージしたデータをなるべく用意することが大事だと思います。

全体を通して、関東圏では近年、ＤＸの話が計画の中に盛り込まれています。生産性の向上、サービスの質の向上が要求されている中で、それを埋めるためのデジタルトランスフォーメーションというＤＸを視野に入れながら、限られた資源の中で効率よくやっていく。情報を価値のあるものとして生み出し、その価値のある情報を基に質の高い行動や判断が取れる社会を作っていくために、情報活用をしっかりと行うことがこれから求められますのでＤＸを大事にしていきたいと感じました。

４　その他

石川子育て応援課長より「第３期子ども・子育て支援事業計画策定に伴うニーズ調査の結果について」報告。

工藤健康課長より「いのち支える瑞穂町自殺予防行動計画の進捗状況について」報告。

事務局より今後の予定を連絡。

・令和６年度　第１回　令和６年７月３０日（火）　午後１時３０分から

５　閉会